

# 平成27年度調達等合理化計画の実施状況及び評価

- 公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、平成27年7月、調達等合理化計画を策定。
- 主な実施状況は、以下のとおり。引き続き取組を進め、課題等は平成28年度調達等合理化計画に反映

## ○重点的に取組む分野

### 計画の内容

- ①物品等調達におけるオープンカウンター方式の導入  
→ オープンカウンター方式を導入することにより、公平性・透明性を確保しつつ、コスト軽減を目指す。
- ②企画競争の一者応募の見直し  
→ 企画競争説明書を受け取りながら参加しなかった事業者に対して、アンケート調査を行い、要因を分析する。
- ③障害者就労施設等からの調達  
→ 障害者就労施設等の業種別一覧表を作成し、障害者就労施設等からの調達を推進する。

### 取組みの状況及び効果



#### 【物品等調達におけるオープンカウンター方式の導入】

- オープンカウンター方式対象案件36件中全36件を実施した結果、見積書を徴取する事務の効率化が図られ、公正性・透明性を確保しつつ調達コスト軽減につながった。

#### 【企画競争の一者応募の見直し】

- 企画競争67件中23件が一者応募。アンケート調査を分析した結果、理由の半数が、自社の都合(他の契約案件対応中、自社の得意分野ではない等)及び企画提案内容が自社では履行困難であったとの理由であり、主に事業者側の理由によるものが多いことが明らかとなったが、企画提案書の提出期限に余裕がなかった等の意見も見られたことから、当機構における改善の取組みとして要件審査の迅速化に取り組む。

#### 【障害者就労施設等からの調達】

- 5件8万円(前年度1件8千円)となり、増加。平成26年度に調達したクリーニングに加え、ゴム印の調達を実施した。

## ○調達に関するガバナンスの徹底

### 計画の内容

#### ①随意契約に関する内部統制の確立

→ 競争性のない随意契約を新たに締結した案件については、監査室の点検を受けることとする。

#### ②職員のスキルアップ

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について、人材育成が極めて重要であることから、職員を対象として調達に係る内容の研修を実施することにより、職員のスキルアップを図る。

### 取組みの状況及び効果

#### 【随意契約に関する内部統制の確立】

→ 競争性のない随意契約等を新たに締結した27案件については、会計規程における「随意契約によることができる事由」との整合性について、監査室による独立した立場からの点検がなされた。

#### 【職員のスキルアップ】

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について職員のスキルアップを図るため、本部職員を対象とした研修を実施するとともに、会計規程、達、通達及びマニュアルを再整備した。また、海外事務所監査を活用し海外事務所職員へ調達業務に係る指導や情報交換を通じて、海外事務所職員のスキルアップを図った。これらを通じて、適正に調達業務が遂行された。

## ○平成27年度調達等合理化計画の評価

平成27年度独立行政法人国際観光振興機構調達等合理化計画について、取組み内容及び効果を検証した結果、公正性・透明性を確保しつつ調達の合理的に寄与するものとなったことから、その目的を達成したと認められる。引き続き、PDCAサイクルにより、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むこととし、平成27年度の自己評価にて明らかになった課題については、平成28年の調達等合理化計画に反映させ、改善に向けて取り組んでいく。